TSUKUBA ●SHIMIN NETWORK ネット

●議員はローテーション ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はすべて手作りで

つくば・市民ネットワーク通信

2014年10月17日
vol.40

発行：つくば・市民ネットワーク
つくば市千現1-18-5-101
Tel＆Fax:029-859-0264 tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

総合運動公園は住民投票で決めよう！

市民に広く知られるようになった巨額な総合運動公園建設問題。

本年3月議会で（独）都市再生機構（UR）からの用地取得を決めましたが、その手続きや議会への情報提供に様々な問題があったとわかりました。

9月議会で詳細に質したところ、**市長は、不適切な事務処理があったと謝罪**しました。しかし、用地買収の不動産鑑定や関連文書は、議会の判断を左右する重大な情報です。単なる「誤り」ではすまされません。

名ばかりの「規模縮小」

現在、学識経験者・住民代表・事業者・議員代表・県など31名の策定委員で構成される委員会で基本計画（案）について話し合われており、3回目の委員会で市長は〝規模縮小〟を打ち出しました。

縮小内容は、陸上競技場の収容人数が2万5000人から1万5000人に減り、サブトラックが無くなった等。代わりに当初の構想には無かった宿泊施設や温浴施設を含む（仮）スポーツ振興センターが浮上。建設・維持管理費用も不明で、**結局、予算全体の縮小は確約されていません。**

その上、東日本大震災復興や東京オリンピックで高騰する資材や、深刻な人手不足で**建設費は、どこまで膨らむのか予測できない状況**です。

つくば市には、これから福祉・教育・インフラ整備など多くの予算が必要です。総合運動公園建設が、これらの必要な事業に影響しない訳がありません。

5000筆こえる反対署名集まる

このような中、市民有志が総合運動公園を考える市民の会を立ち上げました。「大規模な総合運動公園建設をとりやめ、既存施設の改修・充実を求める要望書」を市長に提出すべく、つくば・市民ネットワークも共に署名活動を8月初旬から開始しました。

多くの地域から寄せられた**建設反対の署名は、2か月間で5000筆以上**にのぼっています。必ず建設を止めてほしいと熱心に訴える声も届いています。

366億円もの巨額な総合運動公園建設は、つくば市の将来に大きく影響を及ぼすのは必至です。だからこそ、その賛否については、市民が直接決める住民投票の実施が必要です。

大事なことは、市民が決める！

住民投票は、これまでつくば市では行われていませんが、全国では、合併や原発建設、公共施設建設など様々な問題について実施されています。

今こそ、正確な情報提供のもとで、**私たち一人ひとりがつくば市の将来を見据えた議論を行い、判断する時**です！大事なことは市民が直接決めよう！

住民投票までの流れ

市民 ▼ 有権者の50分の1以上の署名・捺印を集め請求
市長 ▼ 住民投票を実施する条例案を提出
議会 否決 → 住民投票は実施されない
議会 可決 ↓ 住民投票を実施する条例の制定
住民投票実施

※ 総合運動公園の建設反対署名にご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。

総合運動公園建設すれば… 財政負担増は避けられない

つくば市議会議員
文教福祉常任委員
宇野 信子

一般質問の内容
- 既存スポーツ施設の役割と今後の維持管理、更新の費用見込
- 総合運動公園を建設した場合の、今後の財政見通し
- 総合運動公園の用地取得期限に関し、UR からの回答文書が収受手続きされていなかった問題

市民ネットには、「総合運動公園は要らない」「少子高齢化は目前で、もっと他に優先すべきことがある」「TX駅前の新しい街に交流センターや児童館を作って欲しいと要望を出しても、お金がかかるからと実現しないのに、何十倍もの予算をかけて総合運動公園をなぜ作るのか?」など、市民の声が多く届いています。

そこで、総合運動公園を建設する場合、財政見通しはどうなるか質問しました。

市がH24年に公表した中期財政見通しによれば、H25～H29年度の主な普通建設事業は計284億円。2年経過して実態はどうなっているか確認したところ、414・2億円に膨らんだことがわかりました。(表)

総合運動公園を建設すれば、これがさらに膨らむことになります。歳入の大幅な増額は見込めず、結局は市民生活の様々な分野にしわ寄せが来るのは明らか。それだけの犠牲を払う価値のある事業か、広く市民全体の意見を聴くべきです。

これに運動公園が加わるの!?

H25～29年度に計画されている主な普通建設事業	H25～29年度の支出見込み	
	H23年度末試算	H26年9月試算
学校耐震化	20 億円	37.9 億円
小中学校新増築	123 億円	189.5 億円
ＴＸ関連区画整理	10 億円	6.8 億円
基幹道路整備	28 億円	37.2 億円
道路新設・改良・維持補修	24 億円	64.6 億円
リサイクルセンター建設	32 億円	27.4 億円
学校給食センター建設	30 億円	32.8 億円
消防本部・中央消防署建設	17 億円	18 億円
合　計	**284億円**	**414.2億円**

総合運動公園より、子どもの居場所づくりを!

つくば市議会議員
環境経済常任委員
皆川 幸枝

一般質問の内容
- 子ども・子育て支援計画
  アンケート実施結果
  児童クラブの課題
- 合併について
  茎崎町との合併検証
  土浦市との勉強会

つくば市が平成25年度に実施したアンケートによると、放課後児童クラブを利用したいと答えた小学校1～3年生は62・2%、およそ3918人と推計できます。現在の利用児童は1851人ですので、**約2000人の児童が希望しているのに利用できていない**待機児童ということになります。

9月議会では、子ども子育て支援法制定に基づく条例改正案が可決され、小学4～6年生も児童クラブの対象になり面積要件も新たに規定されました。さらに利用希望者は増えると考えられ、現在の面積では足りない児童クラブが出てきます。場所の確保が緊急の対策として必要です。

これまで、児童クラブに学校の余裕教室を活用することは積極的には進めていませんでしたが、今回、教育長より「状況を見ながら進めていく」という答弁がありましたので、ぜひ活用を進めて頂きたいと考えます。

また、児童クラブに入れない子ども達は、平日の放課後や夏休みなどの長期休暇中、自宅で過ごす時間が長くなり、体力低下、インターネットやゲーム依存、防犯の問題などが心配です。このような様々な問題が子ども達へしわ寄せになっているとも言えます。児童クラブ登録以外の子ども達も参加できる制度である「放課後こども教室」にも力を入れ、**全ての子ども達が放課後に豊かな時間を過ごせるよう進めるべき**です。

他にも、スタッフの確保・増員、時間延長など課題は山積、巨額の総合運動公園を作るより、もっと子育てに必要な施策を進めて欲しいと考えます。

総合運動公園土地買収… 市長が詫びてすむ問題ではない!

つくば市議会議員
総務常任委員会副委員長
北口ひとみ

一般質問の内容

- 総合運動公園の土地取得について
- つくば市農業基本計画案の進捗とパブリックコメントについて

総合運動公園については土地買収の段階から疑問な点が多く、調べれば調べるほど、多々不適切な点が判明。９月議会で追及したところ、事務処理上のミスとして最終日に市長の謝罪がありました。（詳細は市民ネットワーク議会速報をご参照ください。）

しかし、問題は事務処理上のミスなどというレベルではなく、**議員の判断を左右するかもしれない重要な情報が隠されていた**点にあります。

疑惑の一つは、土地取得にあたり市が行った不動産鑑定。

土地取得を決める３月議会では、この不動産鑑定について１社しか説明も提示もされていませんでした。当時、市民ネットは、市の不動産鑑定資料を提供するよう求めていましたが、その時点では評価額１万６８００円／㎡とする資料だけが提示されました。結局、３月議会では、約46haの用地を約66億円で取得することが１票差で決まってしまいました。

ところが、その後の６月議会でもう１社、不動産鑑定をしており、その評価額は９１３０円／㎡だったと判明。**高額な評価額しか知らされていなかった**わけです。その後、更に情報公開を求めたところ、この他にも手続きや進め方、つじつまの合わない答弁など矛盾が次々にわかってきました。

総合運動公園整備３００億円につながる重要な案件だけに、これらの疑問や矛盾は計画そのものへの疑念や不信に通じます。

市民に選挙で選ばれた議員への情報隠しは、ひいては市民への背任行為であり、詫びて済まされる問題ではありません。引き続き真相を究明していきます。

東海第2原発 再稼働は危険!!

9月14日（日）アルスホールで、元東芝の社員で原子力プラントの設計技術者でもあった工学博士：後藤政志氏による講演会が開催された。

テーマは「東海第2原発・適合性審査を問う」。三連休の中日にもかかわらず、参加者120名が集まり、3時間に及ぶ解説に聴き入った。

講演では、再稼働に向かう国の判断が如何に危険であるかについて研究者の視点で詳細に説明があった。

特に東海第2原発の危険性について、地震対策・福島とは異なる沸騰水型特有の構造・致命的な欠陥がある可燃性ケーブルなど7項目の指摘があった。改めて「東海第2原発を廃炉にすべき」の思いを強くした参加者は多いと思うが、まだまだ県民には知られていない。

「東海第２発電所の再稼働断念を求める請願」は20,000筆以上集まり茨城県議会へ提出された。しかし、自民党が大多数を占めており、継続案件として判断が先送りにされている。

再稼働などとんでもない！一刻も早く廃炉に向かうよう12月の県議選では「再稼働に反対する議員」を１人でも多く県議会へ送り出そう!

合併のメリットは?

土浦市との合併勉強会が進んでいます。昭和・平成と、国の「合併を進めることで自治体数を減らし、地方交付税を削減する」という目論見のもと、全国で合併が加速しました。

その結果、庁舎が統合され、職員数も削減、面積も広くなり、地域の隅々まで目が届きにくくなり、特に周辺部の住民サービスが低下するという現象は多くの自治体で発生しています。

つくば市が土浦市と合併すれば、予算規模が700億円から1300億円程度になりますが、中核市になると県からの権限移譲により市が単独で行う事業が増え、保健所の設置など負担も重くなります。

旧茎崎町との合併の検証も不十分、合併することで住民にとってデメリットが多く、合併は進めるべきでないと考えます。

<連絡先>　つくば・市民ネットワーク　Tel＆Fax：029-859-0264　E-mail：tsukubahotnet@ybb.ne.jp

傍聴席から

つくば・市民ネットワークは、３人の市議を送り出し、つくば市議会議員の女性比率を大きく上げているが、まだまだ男性が多い。しかし、議会傍聴をして、議員の発言を聞いている分には、女性が元気だ。発言の回数、声の張り、滑舌、内容などなどいろんな意味で良い。議場ではどの議員にも同じように発言の権利はあるはずで、私が傍聴をした日には、女性議員はたぶん全員が発言していた。

議場で、発語（ヤジまたは私語）はしても、発言はしないという議員も複数いた。反対討論をする人がいなかったので、賛成なのかというと、決を採ると、実は反対していたということもあった。私たちつくば市民は、この人たちに決め事をお任せしているんですね。（>_<）

議場では、市長と行政マンがずらりと前に並んでいるが、この列に女性の姿が見られないのは非常に寂しい。ちなみに、傍聴席は女性が多い。（春日在住　T．Mさん）

つくば・市民ネットワークの主な活動報告

7/19、20　全国市民政治ネットワーク全国交流集会参加
7/25 ダンボールコンポスト講習会開催
7/26、27　市民と議員の条例づくり交流会議「行財政縮小時代と市民自治体」参加
8/ 1、4、22　議員と話そう会開催
8/ 2　第2回総合運動公園を考える市民フォーラム共催
8/ 8、9　全国政策研究集会参加“市民自治で未来を拓く”
8/20「遺伝子組み換え作物の栽培実験及び試験栽培の即刻中止を求める要請」提出
8/23、24　「先進自治体に学ぶ―『公共施設等総合管理計画』のつくり方」参加
8/23、24　自閉症カンファレンスNippon2014参加
9/ 6　市政地区別懇談会（桜中学校区）参加
9/ 8～9/25　9月定例市議会（北口、宇野、皆川）
9/13 楽楽大学「人をつなぐ居場所サミット」参加
9/14 後藤政志氏講演会「東海第2原発・適合性審査を問う」参加
9/23 さようなら原発全国大集会参加（東京）
10/ 5　つくば市議会基本条例（案）説明会参加（市内３か所）
10/ 5　「今、甲状腺検査を受ける意味（西尾正道氏）」参加
10/ 5　「今こそ、日本国憲法を生かそう（伊藤真氏）」参加
10/ 7、8　市議会決算特別委員会（宇野）

※総合運動公園を考える市民の会、放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城の定例会へも参加。
※テーマごとの部会活動の他、委員会・審議会、学習会等へも多数参加しています（詳細はＨＰをご覧ください）。

フクシマで生きる子どもたちに、今何が起きているのか

A2-B-©上映会

11 28（金）10:30～ 19:00～
29（土）10:00～　上映時間 71分

つくばサイエンスインフォメーションセンター
定員100名　上映協力金：500円

主催：A2-B-C 上映実行委員会つくば
（ a2bctsukuba@gmail.com ）
協賛：つくば・市民ネットワーク　他

「A2-B-C」とは、甲状腺検査で使われている用語のこと。何も見つからなければ「A1」、嚢（のう）胞や結節などの状態によって「A2」「B」「C」となります。

映画では、テレビでは報道されない福島の厳しい現実と切実な訴えが、カメラを通して静かに映し出されます。

８月までに福島県内で甲状腺がん（疑い含む）と判定を受けた子どもは104人にのぼっています。国は早々と「この結果は原発事故とは因果関係なし」と結論付けましたが、拙速という専門家の指摘も多いのです。

私たちは、子どもの健康被害を主題にして皆さんを怖がらせたいのではありません。これから何に気を付けて生活していけばいいのか、どこから情報を得たらいいのか、話し、つながるきっかけを作りたいのです。

放射能のことが「言えない・話せない」は卒業し、どんどん声をあげましょう。そのきっかけのひとつとして、ぜひ足をお運びください。

（11 月 26 日、もっくんカフェでも上映します。
詳細は http://a2bc-tsukuba2014.jimdo.com/）

A2-B-C 上映実行委員会つくば より

つくば環境フェスティバルに出展します

2014.11.8（土）・9（日）
つくばカピオ・大清水公園

ダンボールコンポスト（ダンボール箱を使った生ごみ堆肥化）と雑紙分別クイズで家庭でできるごみの削減方法を紹介します。ぜひ、お立ち寄りください。

議員と一緒に

話そう！会

議会の報告、身近な問題について話し合います。どなたでもお気軽にお越しください。

11/ 6（木）10時～12時　小野川交流センター
11/ 9（日）13時半～15時半　ふれあいプラザ（茎崎）
11/10（月）14時～16時　竹園交流センター